



第 21 号

発行 青少年育成由利本荘市民会議

事務局 由利本荘市教育委員会

生涯学習課

〒018-0692

由利本荘市西目町沼田字弁天前40-61

☎ (0184) 32-1332

FAX (0184) 33-2202

育てよう
健やかに
支えよう
みんなで

地域で育てよう健全な青少年

由利本荘市8支部

- 本荘支部
- 大内支部
- 矢島支部
- 東由利支部
- 岩城支部
- 西目支部
- 由利支部
- 鳥海支部

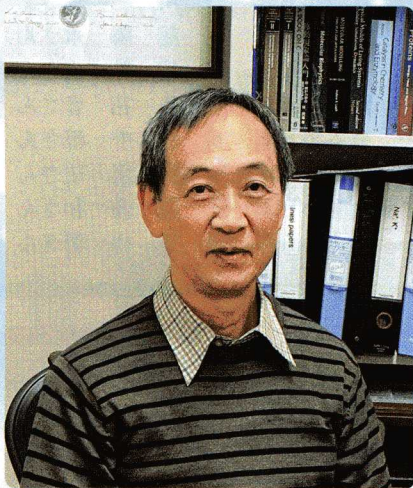


会員募集

青少年育成由利本荘市民会議では、随時会員を募集しております。各地域教育学習課にお気軽にお尋ねください。

点を繋ぐ

東京大学・特別教授 豊島 近ちかし



私は69歳になりますが、まだ現役の研究者です。カルシウムポンプとナトリウムポンプという二つの蛋白質たんぱくしつを相手に「どうやってカルシウムやナトリウムを運搬するのだろう」「どうしてそういう立体構造が必要なのだろう」という問いに答えようと一生懸命に研究を続けています。一つの疑問に答えるのにそれこそ10年以上かかることもあります。「答えられないのはお前が悪い」と言われているようなものなので中々にしんどいのですが、答えはきっと自分しか出せないし「蛋白質を理解するというのはいくらもこういふことなのだ」ということを示したい、とも思うのです。そういう研究を通して、(頭ではなく)ハートで理解した一番大事なことは、自分の前には生命が誕生して以来の想像もできないような長い時間があるということです。それに比べたら自分の一生なぞ点でしかない。だけど点を繋ぐことはできるのですよね。それに、ずっと考えていると答えが向こうから飛んでくる瞬間があります。そういう「自分が素晴らしいと感じたものを次の世代に伝えたい」と思うのです。そのためには自分が何を大切に思い素晴らしいと思うか、喜びを感じるかを知る必要があります。形を与えないと伝えることはできないから、腕も磨かないとだし、自分は何が得意で何ができるか、何をしたら自分を生かせるかを知らなくてははいけません。つまり、自分と向き合うことが必要なのです。私の原点は本荘での小学生時代にあります。鶴舞小学校の先生方や母が、子供の個性を伸ばそうと努力して下さいました。読書感想文を書いたり、模型飛行機を作ったり、野球をしたり、理科実験コンクールに参加したりして、自分は何が得意で何が好きかといったことや表現する手段を学んでいったように思います。そう、まさに、先生方や母は点を繋いで下さったのですよね。やり方は違うけれど、今度は自分がそうする番だと思いますし、本荘で過ごした豊かな時間を深い感謝の気持ちとともに思い出します。

